

長王寺 横浜市都筑区池辺町 2827

開祖、由緒など不明ながら開創年は天和元年（1681年）で本尊は薬師瑠璃光如来。
本寺は当初鶴見川沿いの池辺町川内にあったが焼失し、この地に遷座すると言われている。
境内の大銀杏は乳柱が下がり、「乳出し銀杏」（横浜市の指定天然記念物）として地元の人々から親しまれている。幹回りは5.6M、樹高25M、雌株、樹齢は約730年以上の大きな木で、古くから縁起がいいものとして親しまれている。



道路からは狭い参道が本殿に続く



参道脇に六地蔵が



大きなイチョウが本殿を隠す



本殿はシンプル



本寺で有名な乳だしイチョウ